

# 放送収入が好調を維持 すべての事業セグメントで増収を達成

売上高

(前年同期比+6.6%)

1株当たり配当金

(年間配当35円)

**1,286**億 6千7百万円

**22.5**円

営業利益

(前年同期比+5.1%)

総資産

**50**億 1百万円

**1,005**億 6千5百万円

当期純利益

(前年同期比+10.4%)

純資産(自己資本比率)

**30**億 8千9百万円

**712**億 6千万円  
(68.9%)

1株当たり配当金

グループの成長と企業価値の増大、長期的な経営基盤の充実にに向けた内部留保とのバランスを考慮し、安定的な配当の継続を重視しつつ、業績に応じた利益還元に努めます。  
1株当たりの配当金は年額20円を下限とした安定配当に加えて、業績に連動した配当として、連結ベースで配当性向30%を目標にしています。  
(2016年3月期配当予想)中間配当1株当たり15円、期末配当1株当たり20円

地上波放送事業((株)テレビ東京)は放送収入が好調を維持して増収増益を達成。

BS放送事業((株)BSジャパン)も引き続き二桁増収を達成して、過去最高の売上を記録しました。

グループ会社が構成する放送周辺事業も増収増益となったほか、インターネット・モバイル事業((株)テレビ東京コミュニケーションズ)も増収増益となりました。

2016年3月期 業績予想

売上高 ..... 1,324億円  
(前年同期比+2.9%)

営業利益 ..... 57億円  
(前年同期比+14.0%)

## 地上波放送事業

■売上高 **1,022億1千2百万円**

(前年同期比+5.3%)

■売上比率 **66.7%**

■営業利益 **24億5百万円**

(前年同期比+32.7%)

【連結子会社】

(株)テレビ東京

放送収入はタイム収入、スポット収入ともに好調でした。

番組を提供するタイムCMは、レギュラーセールスのベースアップに加え、大型特番の編成、開局50周年特番のセールスが好調に推移したことから増収となりました。

番組の間に流れるスポットCMは、安定した視聴率に支えられたほか、年度を通じた販促企画でシェアアップを達成し増収となりました。

ソフトライツ収入は、「孤独のグルメ」などドラマの配信事業が国内外で伸びたほか、「テレビ東京ビジネスオンデマンド」が順調に成長しました。商品化部門

では、「妖怪ウォッチ」やオリジナルキャラクター「ナナナ」の商品販売が好調でした。

アニメ事業は、商品化、海外番組販売、配信事業が順調に推移しました。従来から人気の「NARUTO」などに加えて、「妖怪ウォッチ」などの新タイトルも売上を伸ばしました。

イベント収入では、「スターズ・オン・アイス2014」などのフィギュアスケートが好調でした。

## 放送周辺事業

■売上高 **329億3千9百万円**

(前年同期比+5.6%)

■売上比率 **21.5%**

■営業利益 **18億4千7百万円**

(前年同期比+0.8%)

CS放送関連は、アニメ専門チャンネル「エー・ティー・エックス」の加入者数の横ばいが続き、放送売上が伸び悩みました。

一方で、通信販売関連は、「なないろ日和!」を中心に、テレビ通販が好調を維持したほか、BSジャパンでのサイマル放送が顧客層の拡大につながったほか、消費税増税の影響も小さく、収益を伸ばしました。

【連結子会社】(株)テレビ東京ミュージック/(株)テレビ東京メディアネット/(株)テレビ東京コマース/(株)テレビ東京アート/(株)テレビ東京システム/(株)テレビ東京制作/(株)テレビ東京ダイレクト/(株)テレビ東京ヒューマン/(株)テクノマックス/(株)テレビ東京ビジネスサービス/(株)エー・ティー・エックス/TV TOKYO AMERICA, INC.

## BS放送事業

■売上高 **140億5千2百万円**

(前年同期比+12.1%)

■売上比率 **9.2%**

■営業利益 **17億8千1百万円**

(前年同期比-6.6%)

【連結子会社】

(株)BSジャパン

BSジャパンの媒体価値が向上し、スポット収入が好調だったほか、「日経プラス10」を筆頭にタイムCMのレギュラーセールスも良好に推移しました。一方、費用面では、タイムテーブルを充実させるために番組制作費が増加しました。

## インターネット・モバイル事業

■売上高 **39億3千万円**

(前年同期比+59.4%)

■売上比率 **2.6%**

■営業利益 **3億2千9百万円**

(前年同期比+97.8%)

【連結子会社】

(株)テレビ東京コミュニケーションズ

テレビ東京コミュニケーションズは、動画配信事業の準備を着実に進めるとともに、各事業の伸張に努めました。Eコマース事業が「虎ノ門市場」の事業移管で拡大したほか、コンテンツ課金事業ではスマートフォン向けサービスが堅調に推移しました。ネット広告事業では、無料動画配信サービス「テレ東プレイ」でオリジナル動画の配信に取り組みました。